

問い合わせ先
第二管区海上保安本部 海洋情報部
監理課長 牛島 学
電話 022-363-0111 (内線 2510)



平成30年6月22日
第二管区海上保安本部

相馬港の海図を全面的に改訂します

改訂した相馬港の海図を、6月29日に発行します。
今回の改訂には、東日本大震災後の地盤の隆起に伴う水深減少に対応した最新の測量結果が反映され、海図利用者の利便性を向上するため、海図への描画範囲が拡大されています。

1. 改訂の経緯

相馬港は、近年はLNG基地と天然ガス発電所開発など、エネルギー供給拠点として機能することも期待されております。これに対応するため、岸壁や防波堤などの港湾施設もしだいに拡充されています。

海上保安庁では、東日本大震災発生以来、航海の安全を確保するため、測量船や航空機による水深測量を継続して実施しています。主要な航路、岸壁付近を主とした水深測量成果を使用して平成24年3月に、その他の区域を測量した成果を使用して平成25年10月に、二度の海図改訂をしたところです。

東日本大震災では、宮城県を中心に広範囲にわたり地盤の沈降が発生しましたが、地震後ゆっくりとした地盤の隆起が長期間継続しており、水深が浅くなっている可能性があります。相馬港については、潮汐観測及び水深測量により、地盤の隆起が確認されたことから、最新の測量成果により海図を改訂することにしました。

今回の改訂で描画範囲を拡大したことから、図積を全紙にしています。

2. 海図の概要

海図番号	図名	縮尺	図積	価格[税込]	発行日
W1089	相馬港	1/10,000	*全紙	3,456円	平成30年6月29日

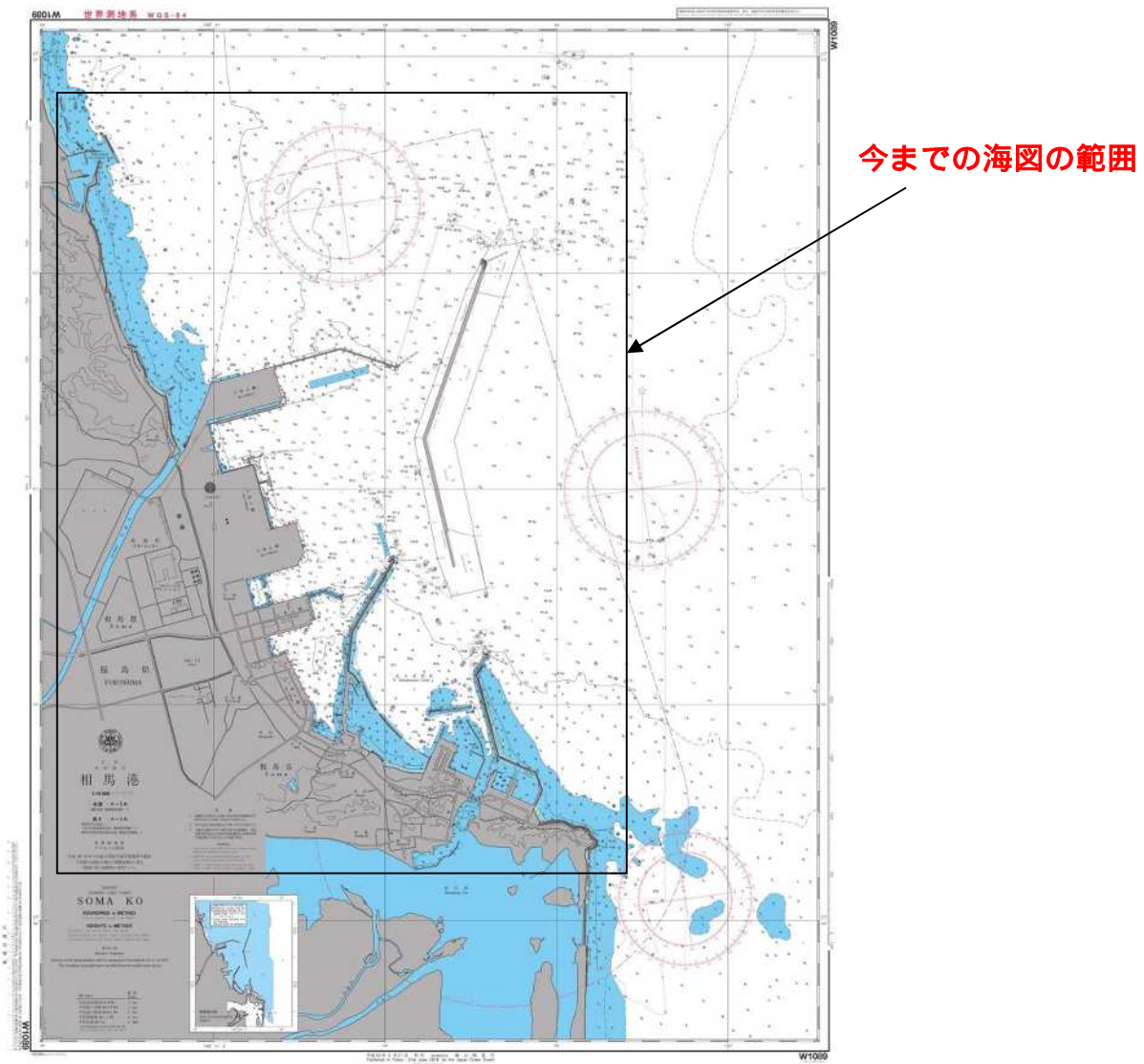
* 図積 全紙とは、用紙の寸法が約109cm×77cmの大きさのもの

3. 海図は最寄りの水路図誌販売所又は取次店で購入できます。販売所等については、以下のホームページ「海図の購入方法（水路図誌販売所）」や当庁刊行の水路図誌目録をご覧ください。

ホームページ（海図の購入方法）

<http://www1.kaiho.mlit.go.jp/KOKAI/ZUSHI3/default.htm>

海図の描画範囲



地盤隆起に伴う港の水深変化イメージ図

